

お知らせ

記者発表資料 配付日	令和7年1月20日
---------------	-----------

■同時発表先：島根県政記者会
出雲市政記者クラブ

尾原ダムにおいて水力発電施設設置・運営事業の事業者を募集します

～中国地方で初！水力発電施設の新設によるハイブリッド

ダムの取組みを推進し、地域振興を目指します。～

再生可能エネルギーの活用の観点から、ハイブリッドダムの取組の一環として、尾原ダムの放流水を活用して新たに水力発電（従属発電[※]）を行う「尾原ダム水力発電施設設置・運営事業」の事業者を募集します。

国土交通省では、気候変動への適応・カーボンニュートラルへの対応のため、治水機能の強化と水力発電の促進を両立させるハイブリッドダムの取組を推進しています。

出雲河川事務所では、尾原ダムについて、本ダムの未利用の水力エネルギーを有効活用した再生可能エネルギー活用によるカーボンニュートラルの推進と、ダム所在地の地域振興を図るため、ダム水力発電施設の設置・運営を計画しています。

（公募の概要は、別添資料のとおり。）

応募要件等を記載した「尾原ダム水力発電施設設置・運営事業」の募集要項等は、別添資料のとおり出雲河川事務所のホームページに掲載しています。

※「従属発電」

ダムの目的となっている水道用水の供給等、利水の運用を利用して行われる発電

<問い合わせ先>



尾原ダムキャラクター「すさのおくん」

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

総括保全対策官

さなだ じゅんじ
真田 淳二

【担当】 管理第二課長

やました こういちろう
山下 幸一郎

0853-20-1754（直通）

〒693-0023 島根県出雲市塩冶有原町 5-1 電話：0853-21-1850(代表)

WEB サイト URL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/index.html>

別添

尾原ダム水力発電施設設置・運営事業 公募概要

目的 : 尾原ダム水力発電施設設置・運営事業は、民間の資金、経営能力及び技術能力を活用し、効率的な整備及び維持管理・運営を実現するものであり、出雲河川事務所が、尾原ダムの放流水を利用して水力発電事業(完全従属)を行う発電事業者(事業候補者)の提案を募集するものです。

内容 : 発電事業者は、尾原ダムの放流水を活用した水力発電施設の設置運営に係る事業計画、資金計画、電気工作物等の設計・施工、管理運営等の取り組みについて、自らの責任において実施することとなります。また、事業候補者は、本発電施設を設置・運営する際、特定多目的ダム法施行規則第7条に基づくダム使用权の設定申請等、必要な法令上の許可等手続および中国地方整備局との基本協定締結が必要となります。

■ダム所在地

一級河川斐伊川水系斐伊川河川区域内(島根県雲南市木次町平田地内)

■公募のスケジュール

募集要項等の公表・配布	: 令和7年 1月20日(月)～令和7年 3月 10日(月)
募集要項等に関する質問受付	: 令和7年 1月21日(火)～令和7年9月26日(金)
現地見学の受付	: 令和7年 1月20日(月)～令和7年1月30日(木)
現地見学の実施	: 令和7年 2月 4日(火)～令和 7年2月7日(金)
プロポーザル参加申込受付	: 令和7年 1月21日(火)～令和7年3月10日(月)
企画提案書の受付	: 令和7年 3月17日(月)～令和7年11月28日(金)
ヒアリング	: 令和7年12月上旬(予定)
事業候補者の特定	: 令和8年 1月(予定)

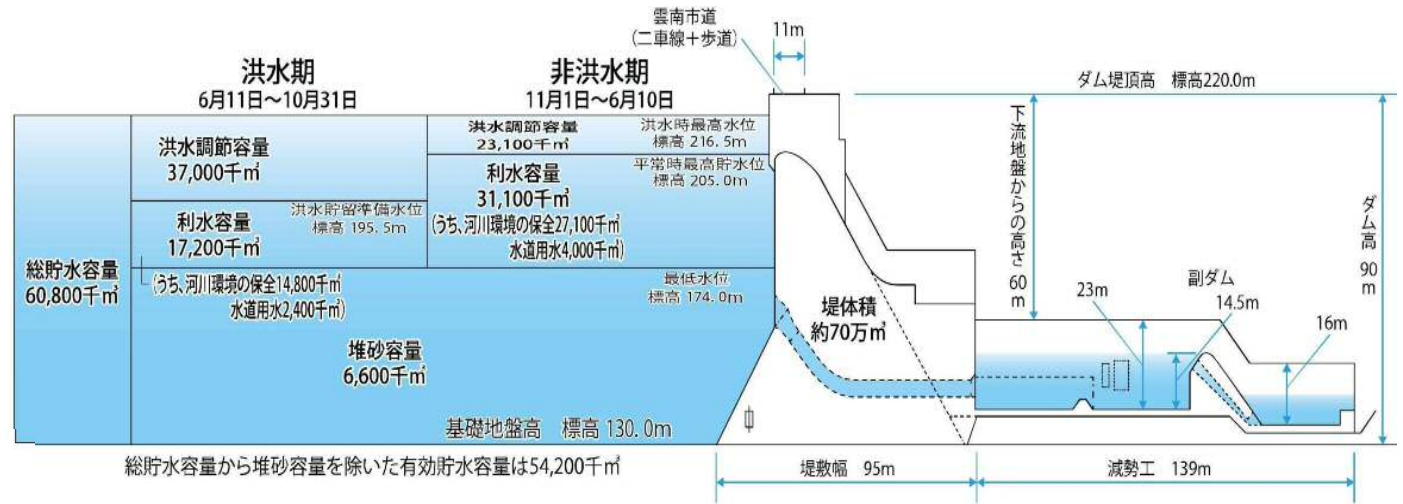
■「尾原ダム水力発電施設設置・運営事業」募集要項等は下記 URL に掲載しています。

WEB サイト URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/enjoy-dam/hydroelectric-power/>

尾原ダムの概要

参考資料

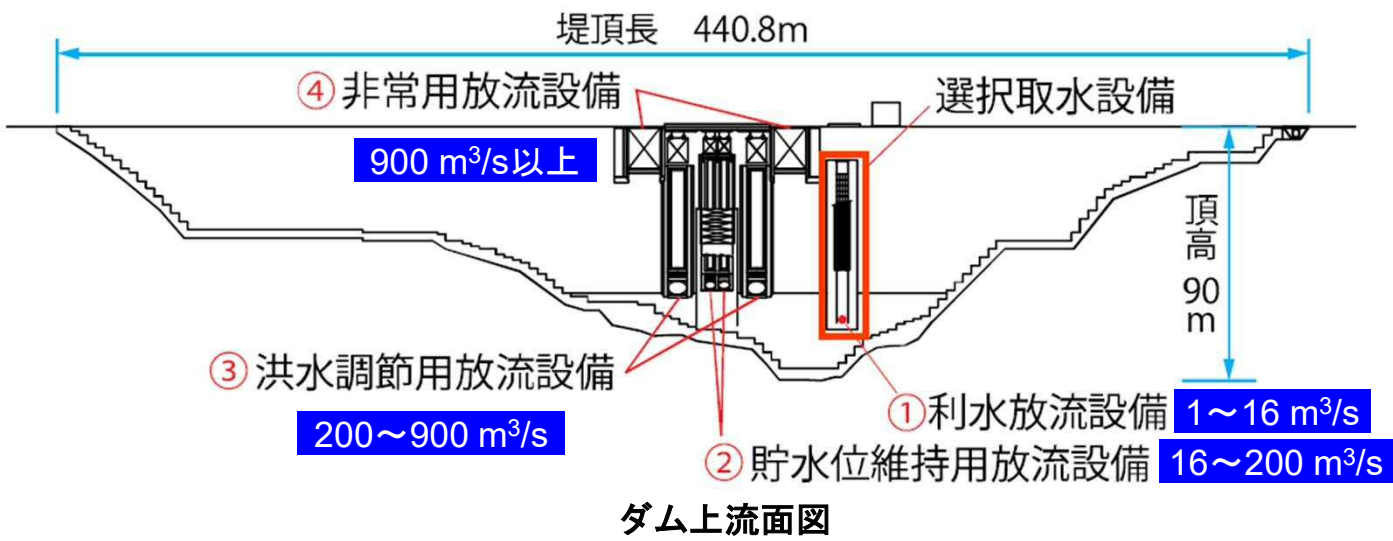
・ 尾原ダムの目的は洪水調節、水道用水の供給、河川環境の保全



- ① 利水放流設備～水道用水等の利水利用のためのゲート
ジェットフローゲート：管径1.2m×1門・管径0.45m×1門
- ② 貯水位維持用放流設備～ダム湖の水位を計画された所定の水位以下に保つゲート
ジェットフローゲート：管径2.6m、100 m^3/s ×2門
- ③ 洪水調節用放流設備～洪水調節を目的としたゲート
高圧スライドゲート：幅3.4m×高4.3m、350 m^3/s ×2門
- ④ 非常用放流設備～100年に1回起こるような大洪水時に使用するゲート
鋼製ラジアルゲート：幅11.5m×高14m、1,125 m^3/s ×2門

【ダムの諸元】

- 堤 高 : 90.0 m
- 堤 頂 長 : 440.8 m
- 集 水 面 積 : 213.8 km²
- 総 貯 水 容 量 : 60,800,000 m³
- 有 効 貯 水 容 量 : 54,200,000 m³
- 堆 砂 容 量 : 6,600,000 m³



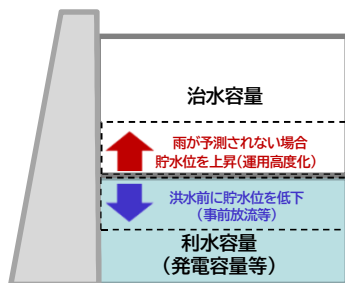
➤ 気候変動への適応・カーボンニュートラルへの対応のため水力発電を推進し、民間活力を活かしたダム周辺の地域振興を図ります。

ハイブリッドダムとは 治水機能の強化、水力発電の増強のため、気象予測も活用し、ダムの容量等の共用化など※ダムをさらに活用する取組のこと。

※「ダムの容量等の共用化」としては、例えば、利水容量の治水活用(事前放流等)、治水容量の利水活用(運用高度化)など。単体のダムにとどまらず、上下流や流域の複数ダムの連携した取組も含む。ダムの施設の活用や、ダムの放流水の活用(無効放流の発電へのさらなる活用など)の取組を含む。

取組内容

(1) ダムの運用の高度化
 気象予測も活用し、治水容量の水力発電への活用を図る運用を実施。
 [洪水後期放流の工夫
 ・非洪水期の弾力的運用] など



(2) 既設ダムの発電施設の新増設
 既設ダムにおいて、発電設備を新設・増設し、水力発電を実施。



発電設備のイメージ

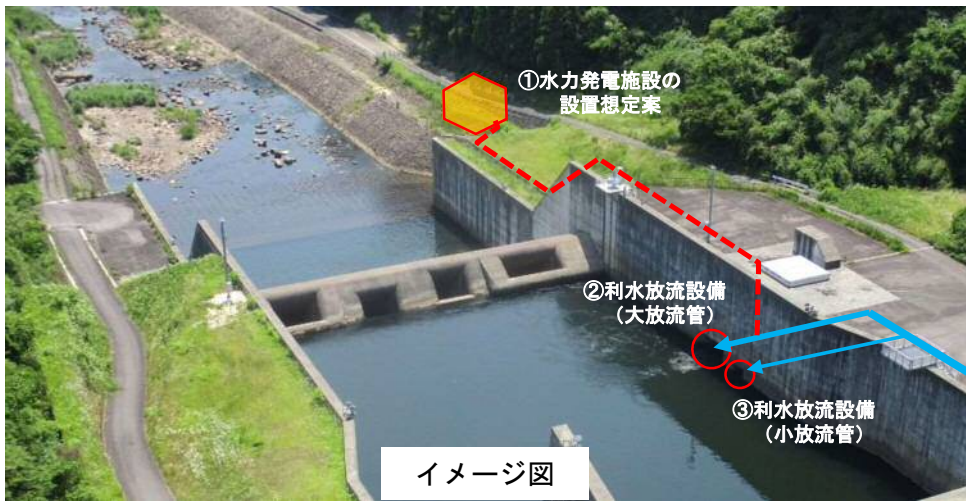
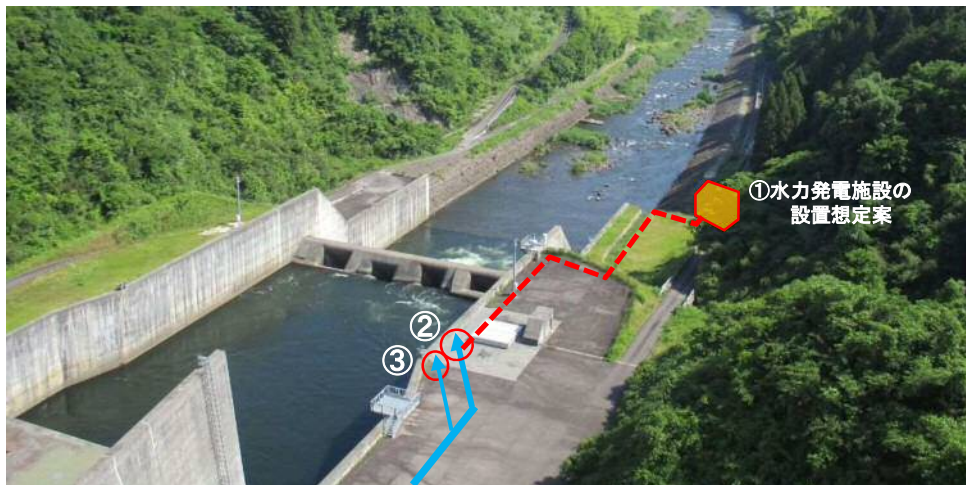
本事業

(3) ダム改造・多目的ダムの建設
 堤体のかさ上げ等を行うダム改造や多目的ダムの建設により、治水機能の強化に加え、発電容量の設定などにより水力発電を実施。



ダムのかさ上げによる治水機能の強化と水力発電の増強

● 発電事業の事業遂行能力・事業計画と合わせ、ダム周辺の地域振興を図るための有益な提案を求めます。



イメージ図